

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	牧俊彦
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3630
事務事業名	4316 臥竜山公会堂管理事業	
所 属	130600 社会共創部・中央公民館	
施 策	04011800 生涯学習の機会充実	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費
	事業	010000 臥竜山公会堂管理事業
事業目的		事業概要・効果
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。		自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
施設等の点検整備に努め、利用者の利便性を図った。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指標名	臥竜山公会堂利用者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	4,000	4,000	3,500	3,500	3,500	
	実績	3,007	3,062	4,086			
指標選定の理由	平成27年度3,290人、平成28年度3,007人、平成29年度3,062人を参考とした。						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		1,461	1,567
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	284	230
一般財源		1,177	1,337
人員数(人)	正規職員	0.5	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,575.0	2,145.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1,245.0	0.0
	計	4,820.0	2,145.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		6,281.0	3,712.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	854	燃料費88、光熱水費665、修繕費42
13節 委託費	30	シルバー人材センター管理業務委託30
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	577	臨時職員賃金406 等

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	42	シルバー人材センター管理業務委託42
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,525	職員賃金552 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	やや低い
評価コメント	臥竜公園に位置し、市民の憩いの場、交流の場として機能が、イベント開催のための大きな和室としての需要は減っている。高齢者向けに和室用椅子の整備に努めている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	南部地域公民館に隣接しているため、地域的な事業の活用を図った。毎年使用する利用団体に、引き続き利用してもらうことができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	受益者負担から冷暖房施設使用料の徴収を実施、コスト削減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

和室の特性を生かした新たな利用方法を考える必要がある。  
和式便器を洋式便器にする必要がある。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
利用率向上に向けた方策を検討。		利用率向上に向けた方策を検討する。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	